

# 東白杵南部地域の普及活動（普及活動月報）

令和6年7月 東白杵農林振興局  
(東白杵南部農業改良普及センター)

## 目次

- I 管内農業・農村の出来事や新たな動き (P 2~4)
  - 1) 【門川町】 牧山地区地域計画検討会を開催
  - 2) 【全域】 7月期子牛セリ市の開催
  - 3) 【全域】 7月期子牛郡共進会の開催
  - 4) 【全域】 第65回県共代表牛決定検査
  - 5) 【美郷町】 美郷町栗部会、定期総会を開催
  - 6) 【日向市・美郷町・諸塚村】 シキミ部会合同役員会でお盆出荷計画を検討
  - 7) 【椎葉村】 オフトークで稲こうじ病対策を周知徹底
  - 8) 【椎葉村】 JA、ミニトマト目揃え会を開催
  
- II 主な普及指導活動等の取組み
  - 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動 (P 5~7)
    - 1) 【門川町】 農業経営改善計画の作成支援を実施
    - 2) 【日向市】 農業経営コンサルティングを実施
    - 3) 【全域】 宮崎方式営農支援体制農業者基礎研修を3回開催
    - 4) 【全域】 日向地域農業再生協議会担い手対策部会の開催
    - 5) 【美郷町】 JAきんかん部会の個別面談の実施
    - 6) 【美郷町】 肉用牛繁殖農家で暑熱対策チェックを実施
    - 7) 【諸塚村】 ウーロン茶製造研修を実施
    - 8) 【全域】 冬春ミニトマト総会において農薬適正使用を啓発
    - 9) 【美郷町】 冬春ミニトマト美郷支部実績検討会で台風対策を指導
    - 10) 【日向市】 スマート農業機器の現地検討会を開催
    - 11) 【美郷町】 くり園地でのドローン防除試験を実施
    - 12) 【椎葉村】 ミニトマト給液システム講習会
    - 13) 【椎葉村】 ほうれんそうの現地調査や関係者との検討で産地ビジョン作成を支援
  
  - 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動(一般活動) (P 8~9)
    - 1) 【全域】 水稻の生育調査を実施
    - 2) 【全域】 日向地区茶生産組合荒茶審査会
    - 3) 【日向市】 WCS用稲の植防除草剤展示ほにおける調査
    - 4) 【全域】 施設胡瓜総会において収量向上に向けた取組の加速化を提案
    - 5) 【日向市】 千切り用大根栽培講習会で病害対策を指導
    - 6) 【日向市・門川町・美郷町・諸塚村】 スイートピー種子冷蔵講習会を実施
    - 7) 【日向市・美郷町・諸塚村】 ほおずきの次作のウイルス対策等指導

# I 管内農業・農村の出来事や新たな動き

## 1) 【門川町】 牧山地区地域計画検討会を開催

23日、門川町牧山公民館で、牧山地区耕作者6名、門川町役場3名、普及センター1名が出席し、牧山地区地域計画検討会が開催されました。

農業委員会が準備した牧山地区の地図を見ながら、耕作者が、現在の作付け状況や後継者の有無などを踏まえ、今後継続する農地を選別しました。今後は、庵川地区全体の検討会で、最終的に地域計画を作成する予定です。

なお、管内市町村の地域計画策定にあたっては、今後も関係者と連携しながら支援を行っていきます。



【地図で農地を確認する  
農業委員会担当者】

## 2) 【全域】 7月期子牛セリ市の開催

20～21日、東白杵市場で7月期子牛セリ市が開催され、雌236頭、去勢269頭、合計505頭（管内：雌148頭、去勢183頭、合計311頭）が取引されました。

平均価格は雌473,238円、去勢519,035円、合計498,713円（管内：雌481,644円、去勢511,301円、合計498,725円）で取引され、前回セリと比べて雌で4,666円増、去勢で31,083円減、合計で12,952円減となり、更に厳しい状況となりました。

また、今回のセリ前研修会では、牛の暑熱対策及び人の熱中症対策について説明がありました。今年は例年よりも暑く、より一層の対策が必要となっており、研修会を通して生産者の意識が高まっている様子が見られました。



【7月期子牛セリ市】

## 3) 【全域】 7月期子牛郡共進会の開催

10日、東白杵家畜市場で7月期子牛郡共進会が開催され、31頭が出品されました。優等首席には、美郷町北郷の上杉航輝氏の「らん26」号が選ばれ、管内では優等2席に椎葉村の（株）尾前牧場、優等4席に椎葉村の那須雅志氏、優等5席に諸塚村の甲斐春三氏が選ばれました。

登録協会の講評では、出品牛は全体的に発育良好で体積に富み、特に首席は幅・体積に加えて体上線も評価されました。

調教賞では、延岡市北浦の木原清美氏、延岡市北川の横山畜産、諸塚村の岡田忠重氏、日向市美々津の黒木太樹氏が選出され、最終的には延岡市北浦の木原清美氏が受賞しました。

厳しい暑さの中での開催となりましたが、出品者は気合いを入れて牛を引き付けていました。



【登録協会及び  
管内技術員による審査】

#### 4) 【全域】第65回県共代表牛決定検査

30日、東臼杵家畜市場で第65回県共代表牛決定検査が開催され、15頭（うち管内10頭）が引き付けられました。審査は登録協会宮崎県支部と東臼杵管内の技術員が、1類、2類、3類にそれぞれ分けて行われました。

最終的に、1類には美郷町西郷の大野英樹氏の「なつみ」号と延岡市の織田直行氏の「つゆいり」号、2類には延岡市の谷名俊一氏の「あいのさくら」号と美郷町西郷の藤島文彦氏の「まりん330」号、3類には椎葉村の（株）尾前牧場の「しいば803」号、延岡市北方の山口勇登氏の「あきこ3」号、諸塚村の岡田忠重氏の「ももさてん」号が代表牛として決定しました。

登録協会宮崎県支部からは、「引付調査を重ねる毎に、牛の状態や立ち姿も良くなってきているため、今後もさらに手入れを行い、毛質や栄養度の改善をお願いしたい」との講評がありました。

猛暑の影響を考慮して開始時間を早めての開催となりましたが、出品者一人一人が緊張感を持って望んでいました。今後も「チーム東臼杵」で一丸となって、県共で良い成績を残せるように農家の支援を行っていきたいと思います。



【代表牛決定検査】

#### 5) 【美郷町】美郷町栗部会、定期総会を開催

17日、西郷ニューホープセンターにて、生産者36名、関係者10名程度が参加し、総会が開催されました。

はじめに出荷量等の優良者表彰が行われ、令和5年度事業実績等、また産地プランの実績及び計画案について承認されました。近年美郷町内で取り組んでいるドローンを用いた農薬散布の防除効果やコストについて生産者から質問が出ました。総会後に美郷町が昨年導入してリースを始めた高枝切りチェーンソー、剪定枝粉碎機の展示が行われました。



【美郷町栗部会総会】

#### 6) 【日向市・美郷町・諸塚村】シキミ部会合同役員会でお盆出荷計画を検討

11日、JA日向地区本部シキミ部会の生産者8名、関係者5名が出席し、シキミ部会合同役員会が開催されました。

お盆出荷に向けて、市場からの注文数量と支部毎の出荷配分の確認が行われました。各支部、概ね計画通り出せる見込みとこのことで、生産者の現状も踏まえて各支部長と調整が行われました。集荷場所について、業者の回収までに高温にさらされているため場所の変更を検討してほしいとの意見が出されました。

普及センターから立枯れ症状解明に向けた動きの共有とアンケート回収について周知しました。



【シキミ出荷調整協議】

#### 7) 【椎葉村】オフトークで稲こうじ病対策を周知徹底

3日から8日にかけて、稲こうじ病対策を関係者と協議し、7月中旬～下旬にかけてオフトークで村内に向けて広く注意喚起を図りました。毎年発生する水田では今年も発生リスクが高いことや、効果を得るためには防除タイミングが重要なことなどをお伝えすることで、その後の問い合わせも増えました。

適期に対策に取り組む人が増え、被害が軽減していくことを期待しています。

## 8) 【椎葉村】JA、ミニトマト目揃え会を開催

17日、JA椎葉支店営農センターで、目揃え会が開催され、生産者12名、関係者5名が参加しました。

JAから収穫時の色合いや出荷に関する連絡事項の説明があり、普及センターからは草勢維持に向けた管理やトマトキバガ等への注意喚起を行いました。

生産者は、出荷された果実の色合いを見ながら意見交換を行い、出荷時の適正な色合いを確認されていました。

これから出荷が増加してきますが、品質が揃ったミニトマトの出荷が期待されます。



【夏秋ミニトマト目揃え会】

## II 主な普及指導活動等の取組み

### 1 プロジェクト（総合、専門）に関する普及活動

[総合：担い手確保・育成、雇用労力の確保、中山間地域づくり 等]

[専門：茶(中山間)、肉用牛繁殖(若手)、冬春ミトマ、ほうれんそう(椎葉)、へべす、スイートピー 等]

#### 1) 【門川町】農業経営改善計画の作成支援を実施

1日、門川町役場において、2戸(畜産、水稻)の認定農業者の更新に関する農業経営改善計画認定申請書の計画作成支援を行いました。今後、認定審査が行われる予定です。

#### 2) 【日向市】農業経営コンサルティングを実施

9日と23日、日向市の施設園芸3戸に対して、JA日向地区本部と連携して農業経営コンサルティングを実施しました。ご本人への聞き取り調査を行いながら、普及センターからは技術と経営に関し、経営発展に向けた提案を行いました。今後も引き続き、農業者の経営改善に向けた支援を行ってまいります。

#### 3) 【全域】宮崎方式営農支援体制農業者基礎研修を3回開催

3日、26日、30日に普及センターで宮崎方式営農支援体制農業者研修(基礎研修)を開催し、農業者延べ10名の参加がありました。農大研修センターで実施されるリカレント研修のWEB受講で、内容や講師は以下のとおりです。

3日「農業と気象」宮崎県の気象の特性等について  
県総合農業試験場 村岡精二 氏

26日「農作業安全」農作業事故と安全対策について  
県総合農業試験場専技センター 福川泰陽 主幹

30日「土壌肥料」土づくりと施肥管理等について  
県総合農業試験場専技センター 杉田浩一 主幹

参加者からは「基礎から学べて良かった」等の感想が聞かれました。今後も9月まで農業者基礎研修を開催し、農業経営者等の能力向上を支援してまいります。



【宮崎方式営農支援体制  
農業者研修】

#### 4) 【全域】日向地域農業再生協議会担い手対策部会の開催

11日、普及センターで、関係者9名が出席し、担い手対策部会が行われました。

会議では、就農相談のロールプレイングをグループワークで行いました。また、令和7年度以降のお試し就農体験研修の対応、県外就農相談会への参加希望状況、若手農業者等の意見交換会についての検討を行いました。

今後も引き続き、関係機関と協力し、管内の担い手の確保・育成に向け、継続的に支援してまいります。



【第2回担い手対策部会】

#### 5) 【美郷町】JAきんかん部会の個別面談の実施

23日、24日、美郷町役場及びJAで、JAきんかん部会員30名を対象に、JA、町、普及センターの担当者が個別面談を行いました。

主に、今後の経営規模や承継意向、承継で困っていること等に加え、栽培における課題についても確認しました。面談では、高齢化が進み体力面の心配から、数年以内に経営縮小もしくはリタイアを考える生産者も少なくない状況や個々の問題を確認しました。

今後は、面談内容をもとに専門家への相談や研修会を開催し、円滑な承継への支援を行ってまいります。



【きんかん部会個別面談】

## 6) 【美郷町】肉用牛繁殖農家で暑熱対策チェックを実施

26日、美郷町西郷の肉用牛繁殖農家に対して、牛舎の暑熱対策チェックを実施しました。

また、データロガー（温室度計）を数カ所設置し、現在の暑熱対策で牛舎内がどれくらいの温度となっているか確認するため、2週間測定していきます。加えて、牛舎内の温度が時間・場所でどれくらい変化するかを確認し、今後の対策について、生産者と一緒に検討を進めていきます。



【データロガーの設置】

## 7) 【諸塚村】ウーロン茶製造研修を実施

9日、諸塚村にてウーロン茶研究会員1名に対してウーロン茶の製造研修を行いました。

当日は茶業支場の研究員を講師として招き、生葉収穫後、ウーロン茶製造に必要な日干萎凋の時間等の確認を行いました。また、翌日の作業に関して各種製造機の設定や時間を確認し、必要に応じて修正を指導しました。

今後は、ウーロン茶の販売に向けた話し合いを適宜行っていきます。



【日干萎凋の程度を確認する普及指導員】

## 8) 【全域】冬春ミニトマト総会において農薬適正使用を啓発

16日、JA日向本部会議室において、生産者20名、関係者28名が出席し、第10回JA日向冬春ミニトマト専門部会通常総会が開催されました。総会では、令和5年度事業実績及び令和6年度事業計画等が全会一致で承認されたほか、産地戦略ビジョンの活動実績の報告、品種毎の反収上位者の表彰が行われました。普及センターからは、令和7年産の防除暦の説明を行い、農薬の使用方の注意点や成分毎の使用回数等について改めて周知を行い、農薬の適正使用や適期防除を啓発しました。



【冬春ミニトマト総会】

## 9) 【美郷町】冬春ミニトマト美郷支部実績検討会で台風対策を指導

19日、JA西郷支店において、生産者8名、関係者7名が出席し、JA日向冬春ミニトマト専門部会美郷支部実績検討会が開催されました。

R6年産は、年内は生育も順調で豊作を予感させましたが、年明け以降の日照不足、長雨の影響もあり数量は増えきらず栽培管理の難しい作となりました。しかしながら、量不足感からの高単価に支えられ、取引金額は例年並みとなりました。

美郷町では、R7年産の育苗も始まっており、引き続き、品質及び生産性の向上を支援していきます。



【冬春ミニトマト成績上位者の表彰】

## 10) 【日向市】スマート農業機器の現地検討会を開催

16日、日向市東郷町の(株)ひむか農園へべす園地にて、生産者2名、関係者10名程度が参加し、直進アシスト機能付きトラクター＋スライドモアによる除草作業の現地検討を行いました。

直進アシスト機能によりハンドル操作なしで直進するため、オペレーターは刈高等の微調整に専念でき、通路や畝上はスムーズに除草できましたが、スライドモアで刈れない株周りや畝の肩面の草が残りました。

今後はラジコン草刈機や畝の形状変更も含めて現地検討に取り組み、関係者と連携して大規模水田転換園での効率的な作業体系の構築を図ります。



【スマート農業機器  
現地検討会】

## 11) 【美郷町】くり園地でのドローン防除試験を実施

17日、美郷町南郷鬼神野地区（1箇所、約30a）にて、また24日、美郷町西郷田代地区（3箇所、約35a）にて、南郷はきじの防除組合、西郷は九電ドローンサービス(株)による薬剤散布試験が実施されました。

今回は殺虫剤「フェニックスフロアブル」を使用し、計画どおり散布できました。普及センターは散布前の打合せに参加し、農薬の使用方法等について確認を行いました。また美郷町役場とともに現地で散布状況の確認を行いました。

今後は8月に2回目の薬剤散布、8月下旬と9月下旬に西郷の園地で虫害発生状況を調査し、防除効果の評価を行う予定です。



【くり園での  
ドローン農薬散布】

## 12) 【椎葉村】ミニトマト給液システム講習会

9日、浅敷ハウス団地において、生産者3名と関係者4名が出席し、大塚アグリシステム主催の給液システム講習会が開催されました。村内のミニトマト養液栽培では同じ給液システムが導入されており、メーカーから普段のメンテナンスやトラブル時の対処方法等について説明を受けました。

部品交換や分解して清掃するなど、普段なかなか行わない作業を実践しながら学ぶことができ、生産者からは、質問が多数だされました。



【ミニトマト給液システム  
の講習会】

## 13) 【椎葉村】ほうれんそうの現地調査や関係者との検討で産地ビジョン作成を支援

4～5日、29～30日に、ほうれんそう生産者のほ場や共同選果場を巡回し、栽培状況等の調査を行いました。また、産地ビジョンの素案を作成し、24日の技術員会で検討を行いました。

ほうれんそうの産地では、1・2作目の収穫や、2・3作目の播種が順次行われており、出荷場もフル回転しながら生産量が増加しています。

定期的に調査や聞き取りを行うことで、生産者と話す機会も増え、産地ビジョンについての意見も気軽に話していただけるようになりました。関係者と検討した素案を基に、8月下旬には生産者と検討会を開催し、より良くなるための効果的な実践項目を生産者や関係機関と整理していく予定です。



【技術員会でほうれんそう  
の産地ビジョン検討】

## 2 プロジェクト（総合、専門）以外の普及活動（一般活動）

### 1) 【全域】 水稲の生育調査を実施

16日、作物部会員15名で日向市、門川町及び美郷町に設置している展示圃場の生育調査を行いました。

早期水稲の生育は概ね順調で、収量も平年並みになる見込みです。普通期水稲の生育は概ね順調ですが、いもち病が散見されました。

早期水稲は29日から坪刈り調査を行い、今後分解調査を行います。なお、調査結果は今後の栽培管理指導に活用していきます。



【早期水稲の穂数調査】

### 2) 【全域】 日向地区茶生産組合荒茶審査会

26日、JA西郷支店で関係者13名が出席し日向地区茶生産組合荒茶審査会が行われました。

今年度は煎茶15点、釜入り茶11点の出品があり、専門技術員、茶業支場研究員、普及指導員が審査員を務めました。釜入り茶は比較的良好なものが多い中、一部改善が必要なものがありました。煎茶は4月前半の雨の影響で大柄なものが多く、萎凋の強いものもあったため、審査員から「生葉収穫後の管理をしっかり行うように」と指摘がありました。

各部門の上位10品は、9月に開催される県共進会に出品されます。



【審査員による  
外観品質調査】

### 3) 【日向市】 WCS用稲の植防除草剤展示ほにおける調査

16日、日向市美々津に設置しているWCS用稲の除草剤効果確認の展示ほにおいて、除草剤散布後の薬害確認調査を行いました。

本展示ほでは、試験区で「ディオーレジャンボ」、慣行区で「マサカリジャンボ」を散布し、その効果を確認しています。

薬害についてはどちらの区も見られず、生育は順調でした。雑草については、慣行区の方で若干広葉雑草が見られました。

来月には残草調査を実施し、除草剤の効果確認を行い、良質なWCS用稲の生産に向けて地域に波及させていきたいと思えます。



【薬害の調査】

### 4) 【全域】 施設胡瓜総会において収量向上に向けた取組の加速化を提案

31日、JA日向本部会議室において、生産者6名、関係者13名が出席し、第2回JA日向施設胡瓜専門部会通常総会が開催されました。総会では、令和5年度事業実績及び令和6年度事業計画等が全会一致で承認されたほか、産地戦略ビジョンの農業者、関係機関への共有が行われました。普及センターからは、Dプロ、令和7年産の防除暦について説明を行いました。Dプロはデータを活用して収量向上を目指す県下全体のプロジェクトです。データ活用を検討する勉強会を令和6年産分から各地で開始していますが、次作からは取組をさらに加速化させる予定です。胡瓜部会は発足したばかりですが、生産者、関係機関ともに産地振興に向けての機運が高まっています。



【施設胡瓜総会】

## 5) 【日向市】千切り用大根栽培講習会で病害対策を指導

5日、JA美々津支店において、生産者22名、関係者4名が出席し、令和6年度千切大根栽培講習会が開催されました。

講習会では、販売情勢についてJA担当者から説明があった後、普及センターからは近年、問題となっている「亀裂褐変症」の症状や対策について説明を行いました。また、農薬の適正使用について使用方法や飛散防止対策を講習しました。生産者からは、対策をしっかりと行い、品質の維持に努めたいという声が聞かれました。

引き続き、病害虫の対策を指導し、品質向上を支援していきます。



【千切り用大根講習会】

## 6) 【日向市・門川町・美郷町・諸塚村】スイートピー種子冷蔵講習会を実施

10日、生産者3名と関係者4名、肥料メーカー3名が参加し、スイートピーの播種前の種子処理作業について講習会が開催されました。

種子処理作業工程について、単独で使用する生産者はスケジュール確認を行い、合同で冷蔵庫を使用する生産者は前年度分を参考に、今年度のスケジュールを調整しました。

普及センターからは硫酸処理の正しい手順や冷蔵処理の温度管理や期間についての指導を行いました。

## 7) 【日向市・美郷町・諸塚村】ほおずきの次作のウイルス対策等指導

24日、生産者14名と関係者8名、市場関係者1名が参加し、ほおずき8月出荷型の目揃え会が開催されました。

経済連担当者から他産地の販売動向や販売価格についての情報提供、市場関係者から情勢報告が行われました。

普及センターからは、次作に向けた実生苗の管理とウイルス対策の指導を行いました。



【ほおずき8月出荷型  
目揃え会】